

## 賛助会員募集について

特定非営利活動法人東京モンテッソーリ教育研究所では、当NPO法人の目的および事業に賛同して事業を賛助する個人及び団体会員を募集しています。  
是非、当NPO法人の趣旨にご賛同いただき、会員としてご協力下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

賛助会員	入会金 10,000円	年度会費	
		個人・団体	一口5,000円 ※一口以上からのお申込み

入会ご希望の方は、当研究所まで電話またはFAX、E-mailにてお知らせください。申込書をお送りいたします。  
電話番号：03-5805-6786 FAX番号：03-5805-6787 E-mail：info@montessori.or.jp

## 東京モンテッソーリ教育研究所 平成30年度収支決算

収入の部		単位:円
入会金		
	個人	0
	団体	0
会費収入		
	個人	210,000
	団体	10,000
事業収入		
	教員養成事業	16,857,508
	指導者支援事業	112,500
	広報事業	0
雑収入		
	受取利息	2,181
	雑収入	250
経常収入合計		17,192,439

支出の部		単位:円
事業費		
	教員養成事業	8,826,869
	指導者支援事業	104,139
	広報事業	219,388
管理費		
	役員報酬	270,000
	人件費	251,256
	外注委託費	1,560,000
	会議費	49,250
	旅費交通費	9,360
	通信運搬費	127,513
	消耗什器備品費	0
	消耗品費	78,722
	修繕費	0
	印刷製本費	0
	光熱水費	31,028
	賃借料	346,836
	租税公課	430,800
	雑費	180,884
経常支出合計		12,486,045

当期収支差額	4,706,394
前期繰越収支差額	33,520,229
次期繰越収支差額	38,226,623

平成31年4月24日 上記の通り相違ありません。事務局長：青木和美

## 編集後記

T.I.M.E. 第12号は今日の教育的求めに合った内容になっています。これは東京コースが常に、時代と共に、進歩・進化を遂げているからでしょう。特別講義には阿部陽子先生がアメリカのモンテッソーリ教育を学んだ体験を基に、0歳から12歳までのモンテッソーリ教育についてご講義なさいました。また、図書紹介では多くの実践の事例が載っている『モンテッソーリ インクルージョン教育』をご紹介しています。モンテッソーリ教育は人間の「いのちへの援助」(Aid to Life) ですね。 江島正子

## 平成30年度研究所活動報告

1. 会員の動向 (平成31年3月31日現在)
  - ①新規入会 正会員 個人 なし 賛助会員 なし
  - ②退会会員 正会員 個人 3名 賛助会員 なし
  - ③会員数 正会員 個人20名  
賛助会員 1団体 (2口)
2. 活動報告
  - ①教員養成事業 平成30年4月 第13期生 31名入講  
平成31年3月 第12期生 18名修了
  - ②指導者支援事業 平成30年8月  
第10回実践実技研修会開催、  
於 富坂キリスト教センター1号館  
第1会議室「感覚教育」
  - ③ホームページ等による広報事業  
「モンテッソーリ教育」(学会誌) 第50号に広告掲載、日本モンテッソーリ大会(学会) 第51回全国大会冊子の協賛広告掲載、平成30年11月に「T.I.M.E.」第11号を発行。ウェブサイトを通し、広く一般に東京モンテッソーリ教育研究所及び、附属教員養成コースの活動を発信し、モンテッソーリ教育の普及活動を行った。  
<http://montessori.or.jp/>  
以上  
事務局長 青木和美

## 令和2年度入講生募集のお知らせ

募集定員：夜間コース、土曜コース 各25名  
出願期間：令和元年12月2日(月)～  
令和2年1月15日(水)  
出願書類：願書・受験票(所定用紙・写真添付)  
最終学校の卒業証明書又は、卒業見込証明書  
選考料の振込み金受領書のコピー  
選考日程：令和2年1月19日(日)午後1時集合  
場 所：富坂キリスト教センター  
内 容：小論文(レポート)・面接  
※詳細・入講案内は事務局までお問い合わせください。  
Tel. 03-5805-6786 Fax. 03-5805-6787  
Email: info@montessori.or.jp

第12号  
No.12

令和元年11月1日発行  
November 1, 2019

特定非営利活動法人東京モンテッソーリ教育研究所

# T. I. M. E.

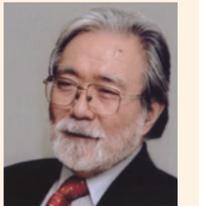
Tokyo Institute of Montessori Education  
<http://montessori.or.jp/>

Chair Person Tamako Amano General Secretary Kazumi Aoki  
理事長 天野珠子 事務局長 青木和美  
Editors Ph.D. Masako Ejima Kazuko Hotta  
編集委員 江島正子 堀田和子

〒112-0002  
東京都文京区小石川2-17-41  
富坂キリスト教センター2号館内  
Tomisaka Christian Center 2  
2-17-41 Koishikawa  
Bunkyo-ku, Tokyo, Japan  
Tel. 03-5805-6786  
Fax. 03-5805-6787  
✉ info@montessori.or.jp

## 巻頭言

## 幼児の秩序への本能と分類することの意味



東京コース コース長 前之園 幸一郎

モンテッソーリ教育においては秩序が基本的な原理の一つとされています。「すべてのものには定められた場所があり、すべてのものはその本来の場所に置かれている」との原則にもとづいてモンテッソーリ園の環境は整えられております。子どもは秩序と調和に満ちたその環境の中で何ら混乱することなく安心して活動に集中しています。

モンテッソーリは『幼児の秘密』の中で、信じがたいように思われるかもしれないが小さな子どもたちは秩序への自然的本能を持っていると述べています。その「秩序への本能は最も重要で最も神秘的な敏感期の一つであり、子どもを秩序に対して最も鋭敏にするものです。それは出生直後から2歳頃まで継続します」としています。

秩序は小さな幼児にとっては確かさを意味します。つまり、すべてのものはそれが置かれていたその場所にあるという確かさです。赤ん坊が泣いたり、落ち着きのない状態を示す場合の多くはベッドやテーブルの位置や場所が変えられて外面的な秩序の混乱が関連しているとモンテッソーリは考えています。すでに赤ん坊にも見られるこの秩序の感覚を、彼女は「世界の中で方角を知る羅針盤」であるとしています。秩序は環境の中で自分の位置を確かめることを、環境のあらゆる細部を把握することを意味しているからです。秩序はモンテッソーリ学校に充満していなければならないとスタンディングは述べています。「先生は子どもに命令する必要は全くない。なぜなら秩序への愛が子どもたちを自発的につき動かして環境を整えるからである」(『モンテッソーリの発見』)。

物理的な環境における秩序と同様に精神における秩序も重要な役割を持っています。「精神の秩序は努力と時間を節約します。それは、整理の行き届いた図書館が学者たちにとって力と時間を節約できるのと同様です」(『自己教育』)とモンテッソーリは述べています。すなわち、彼女によると事物をその特徴にしたがって分類することは秩序を創り出すためのすぐれた手段です。分類によって世界は子どもにとってもはや混沌ではなくなります。子どもの精神がよく整理された図書館の書棚のようになるからです。一つ一つのもので、それが属するカテゴリー内のしかるべき位置をしめます。そして子どもの獲得物はすべて、ただ「蓄えられる」だけでなく、正しく「位置づけ」られます。また、そこで子どもが身につける根源的な秩序は、将来も決して乱されることはありません。新たな材料によってますます豊かなものになっていきます。

このように分類によって秩序をつくる経験の意味を明らかにして、モンテッソーリは「知性とは精神の内部にすでに存在するしっかりした一つの秩序にもとづいて外界のものごとを区別し、分類し、目録をつくる能力である」としています。

子どもたちは自分を取り囲む環境の中で、触り、味わい、聴き、見つめ、体を動かしながら外界を比較し分類し、秩序化を試みながら成長し発達の道のりを進んでいるのです。

## 追悼 — きらら子どもの家 園長 森田倫代先生を偲んで

東京モンテッソーリ教育研究所理事長 天野珠子



令和元年7月18日、蒲田総合斎場で行われた森田先生の告別式に研究所を代表して副理事長の廣澤先生と共に参列させて頂きました。素敵に着物姿で祭壇から微笑む遺影に、これまでの長いお付き合いが走馬灯のように浮かびジンときてしまいました。

森田先生は、上智コース修了と同時に「きらら保育園」「かのん保育園」そして「きらら子どもの家」の3施設を次々開設し地元の保育に貢献されてきました。2015年にはコースの特別講義講師として、また2017年、記念すべき第50回日本モンテッソーリ協会（学会）のシンポジウムのシンポジストとして、いずれも保育園でのモンテッソーリ保育の立ち上げや保育者養成の苦労話をされました。私も「きらら」や「かのん」の父母の会講演に数回伺いましたが、素敵な園舎で夢の実現に努力されるご夫妻に応援しておりました。そして「きらら保育園」で松川先生の「ルーテル保育園」に次いでモンテッソーリコースの分室を2年間開講させて頂きました。まだまだモンテッソーリ教育発展のため頑張ってくださいました先生ですが、しっかりした後継者も複数いらっしゃることで今後を天国から見守り続けて頂きたいと思っております。 謹んでご冥福をお祈りいたします。

## 第11回実技研修会報告 令和元年8月24日(土) 10:00~16:00

支援事業担当理事 小川かおる

夏休みの恒例になっております実技研修会、今回は言語教育が担当致しました。早いもので各領域が3巡目に突入です。33名の方が参加して下さいました。会場は隣接致します富坂まきば保育園の御厚意により、真新しいお部屋で開催することが出来ました。

今回のテーマは『言語教材における提示のトライアングル』です。普段コースの授業の中では、其々に教具にあわせたプログラムの順に提示を行っています。「子どもの年齢やその時の状況次第によっては、プログラム順の提示ではなく、子どものレベルで教具の間を行ったり来たりして、文字への興味につなげ理解を高めて行く事が大切です。」と言う天野講師の話が耳に残りました。



制作では、文字合わせ仮名文字カードを作りました。なかなか頻繁に変化を取り入れるのが難しい教材ですので、制作する絵カードが「おおきなななぶ」の登場人物になるとは、新しいアイデアに参加者からは喜びの声が聞かれ、久しぶりに会う旧友の再会に楽しい時間が流れた一日でした。



## 寄付のお礼

この度、上智16期生 杵島早苗様よりNPO法人東京モンテッソーリ教育研究所の活動主旨にご理解を賜り、ご寄付を頂戴しましたこと、教職員一同、心より感謝申し上げます。

ご寄付として頂戴いたしました支援金は、モンテッソーリ教育をメインとした今後の当法人の活動資金として、大切に運用させていただきます。

事務局長 青木和美

## 特別講義

## 「0歳～3歳、6歳～12歳のモンテッソーリ教育（アメリカで学んで）」

2019年9月18日 水曜日 18:00～20:00 安倍陽子先生

数教育担当講師 三浦直樹

講師の安倍陽子先生は、国際モンテッソーリ協会公認（0-3歳）国際教師資格取得、日本モンテッソーリ教育総合研究所モンテッソーリ教育0-3歳教師養成通信教育講座修了、日本モンテッソーリ協会公認（3-6歳）教師資格を東京コース1期生として取得されています。また、国際モンテッソーリ協会公認（6-12歳）国際教師資格取得のため、現在もアメリカで学ばれています。先生の探求心、バイタリティと、モンテッソーリ教育への深い学び、子ども達への深い愛情に会場が魅了されていました。

先生の主な活動として、「マンガ モンテッソーリの幼児教育 ママ、ひとりですのを手伝ってね!」を始めとする執筆活動をされています。現在「未来の才能をのばす、0歳と1歳のモンテッソーリ子育て」の執筆が終わったところで、河出書房新社より10月7日出版予定です。私は0歳、1歳に特化したモンテッソーリ教育の内容を拜読するのが今から待ち遠しいです。現在は、講演活動や世界のモンテッソーリ教育の情報発信のために、ポータルサイト「イデー・モンテッソーリ」を運営されています。

モンテッソーリ教育の小学校や高齢者施設は、海外では当たり前なのに、日本ではモンテッソーリ教育が身近な選択肢にない事は大変勿体無いと考えられ、将来それらの施設を創ることが夢と話されていました。認知症の方にもモンテッソーリ教育は大変効果的な治療法で、先生は日本で初めてのモンテッソーリ認知症ケアワーカー養成コースで学ばれたそうです。

モンテッソーリの発達4段階（0-24歳）から、各年齢の適切な援助と子どもの見方を学びました。0-3歳では、3-6歳よりシンプルな提示方法や年齢に応じた環境への配慮を学び、0-3歳で獲得した感覚が、3-6歳の感覚教具で洗練、整理され花開くこと。また、6-12歳の「歴史、言語、幾何学、数、生物学、地理、アート、音楽」の分野における、より進んだ提示から、3-6歳の学びがどのように発展していくかを学びました。認知症の方への援助方法も伺い、児童、青年、そして高齢者のモンテッソーリ教育法をご教示頂いたことで、現在学んでいる3-6歳のモンテッソーリ教育法を新たな視点でより深く捉える事が出来ました。また、現在の学びが終着点ではなく大切なひとつの始まりであると思えました。

「マリア・モンテッソーリは3-6歳から研究を始められたそうです。モンテッソーリ教育の醍醐味を味わえる時期です。感覚体験よりも抽象化が進む現代社会において、自分で考えて動ける人間が求められています。予測困難な時代に、主体的、能動的に取り組む力が必要です。こういう時代だからこそ、自己肯定感を高める必要があります。自分やまわりを信じる気持ちが大切です。これから求められる人間を育てるモンテッソーリ教育。皆様のモンテッソーリ教育が素晴らしいものでありますように祈っております。」と、講義の末尾にまとめられ、私達に力強く温かなエールを頂きました。



## 図書紹介



ローレ・アンデリック著  
春見静子 佐々木信一郎 勝間田 万喜  
『モンテッソーリ・インクルージョンへの道——実践のための実践による考察』

ロギカ書房、2019年、226頁、  
本体2,400+税。

群馬医療福祉大学大学院教授  
理論 文化講師 江島正子

著者ローレ・アンデリックは2018年8月に開催された日本モンテッソーリ協会（学会）第51回全国大会における特別講演者です。すばらしい講演内容に、「気になる子ども」についてもっと知りたいというご希望にそって、本書が発行されました。記者の三人は上智大学のペテロ・ハイドリッヒ SJにより1977年に設立された「うめだ・あけぼの学園」の仲間たちです。本書のユニークさは、章とか節とかでな

く、内容的に前半と後半に分けられていることです。さらにユニークなのは、後半の大部分が「人間の社会、経済、文化を形成しているとても重要なものの1つ“お金”と関連した教育が展開されていることです。内容は以下のとおり。

推薦のことば  
訳者まえがき  
序言 ヘルマン・グリュッサー  
序文  
インクルージョンとはどういうものか？  
共生の形態は学校システムにどのような影響を及ぼすか  
インテグレーションとインクルージョンの比較  
すべての人を豊かにするインクルージョンの条件  
インクルージョンを成功させるための条件とは？  
学校同伴 仕事か、職業か、使命か？  
マリア・モンテッソーリはわれわれに何を語っているか  
これからの見通し  
彼らはその後もインクルージョンを体験し続けるか  
お金 あなたの価値は何ですか  
日常生活の練習  
遊び 余暇の過ごし方 まとめ 参考文献 付録  
訳者あとがき